

モデルプロジェクトについて
(委員、専門委員のご意見)

1) 事業主体について

- ・ 国、県、政令市、市町村の事業の中から3件（各々は1件）
- ・ 大都市、地方について、各々1件以上
- ・ 数をこなしているところと、1件しかしていないところ
- ・ 大規模な事業と小規模な事業
- ・ 国の事業はモデル性のあるもの
- ・ 市町村は複数
- ・ 市町村は初めてPFIをしたところ
- ・ 国庫補助が入っている事例

2) 事業類型について

- ・ 独立採算型とサービス購入型の事業から各々1件以上
- ・ 独立採算型は入れたほうがよい
- ・ 運営重視型をいれる
- ・ それぞれから選ぶ際には、実施段階と関連させて考えてはどうか

3) 事業の実施段階について

- ・ ある程度走り出した事例を見たほうがうまくいくと思う（アメがなければ事例が出てこない）
- ・ 事業の初期に行った事業の見通しが正しかったのか、持っていた期待がどうなったのかなどを振り返り、評価できる段階にある事業（運営段階に入ってから数件経過した事業というイメージ）
- ・ 初期段階のもの（なければ、モデルプロジェクトを提案してもらう）
- ・ どの段階のボトルネックの把握を図るかが問題。これからPFIをやることころなのか、やると決まって契約を結ぶ段階なのか等
- ・ 場面ごとに分けないと問題は出てこないのでは
- ・ 契約案件についても、運営段階ばかりではなく、これから建設するもしくは建設中のものを1つ
- ・ 地方自治体の検討によりPFI以外になっている理由を聞くことも考えられる
- ・ ベストプラクティス的なもの。利用者側からの評判が良いもの
- ・ 比較的うまくいっている事業
- ・ 典型的な事例。あまり極端な例を取り上げるのはよくない
- ・ 実務面からの課題の掘り起しと解決策の提示

- ・運営段階の比重の高いものは、このやり方がよかったのかどうかという検証ができるものがよい

4) 事業の分野について

- ・医療、福祉、新エネルギーとか、P F I 事業の実績は数件しかないが、今後伸びる分野からも選ぶ
- ・病院
- ・福祉
- ・道路・都市開発型
- ・地方でできないものについて取り上げる
- ・都市の競争力の強化に関するもの、大規模プロジェクト
- ・地域振興型（老朽化した施設のパッケージ）
- ・刑務所
- ・合同庁舎
- ・図書館、文化ホール
- ・港湾・空港
- ・水道
- ・学校
- ・利用料金を取っているもの（プール、駐車場とか）
- ・地方公共団体単位
- ・ベストプラクティス的なもの（再掲）
- ・再生エネルギー（下水道関係のエネルギー施設）
- ・市場の変化が激しいものは難しい
- ・地方でやっている「遊び場」のような事業ではなく、本当に必要な公共サービスを提供する事業を選ぶべき
- ・仕組みがシンプルなもの
- ・わが町でもできると思うようなもの
- ・コンセッションでもできそうなものの課題を把握し、今後のコンセッションを活用した事業に活用していくことも考えてはどうか
- ・復興フェーズで活用できるもの
- ・国交省が募集した案件
- ・那覇空港の管制部で機械の配線などその分野のプロでないと難しいというような特殊技術が必要な事業

5) その他

- ・性能発注の方法、サービスの設定等の質に関するところについて問題があるのではないか
- ・モデルプロジェクトは実施する者がいないものについて、実施するというものではない

か

- ・議論が現実から遊離しないようにすべき
- ・リスクアロケーションについての事後評価をする
- ・民間から見たボトルネックの把握を図ることも必要
- ・将来につながるものを取り上げる
- ・手続きにつながるものを取り上げる
- ・仮想のモデルを作る
- ・「うまくいっていない」とは言いにくいのではないか
- ・運営段階に入っているものは、ボトルネックはないのではないか
- ・計画とか、どうすればうまくいっているのかを整理するのではないか